

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

## 令和6年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】

令和5年10月16日

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	
	出席番号		A000001
氏名	学校用 見本 (カヅオウ ミホ)		様

\* 99999901 #59999999

交付書類コード = F  
このコードにより交付される書類が異なります。  
封筒の裏面にてご確認ください。

独立行政法人日本学生支援機構

### 1. 申込内容及び選考結果

申込内容	貸与奨学金			
	給付奨学金	第1希望	第2希望	第3希望
希望する	併用貸与	第一種奨学金	第二種奨学金	入学時特別増額貸与奨学金

選考結果	貸与奨学金			
	給付奨学金	併用貸与(※1)		
	併用貸与(※1)	第一種奨学金	第二種奨学金	入学時特別増額貸与奨学金
候補者決定	候補者決定	—	—	—
支援区分: 第I区分	—	—	—	—

- ※1 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金の両方の貸与を受けることを表します。
- ※2 「○」は要件・資格等に該当、「×」は非該当(必要書類の不備が解消されていない場合や未提出の場合等の理由による判定不可を含む)。「—」は申請時に希望していない(もしくは希望種別の無い)種別が決定したため未判定であることを表します。
- ※3 「必要書類の提出」の「必要書類」とは、「奨学金確認書」、マイナンバーを提出できない場合の「所得証明書」等又は国籍・在留資格に関する証明書(該当者のみ)等です。

### 2. 採用候補者となった奨学金の内容について

利用条件	給付奨学金(※1)	第一種奨学金(無利子)(※2)	第二種奨学金(有利子)	入学時特別増額貸与奨学金(有利子)
	支援区分: 第I区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用: 可 猶予年限特例: 対象		
申込時の選択内容(※3)	貸与額	最高月額	月額120,000円	一時金500,000円
返還方式	所得連動返還方式	定額返還方式	定額返還方式	定額返還方式
保証制度(※4)	機関保証	人的保証	人的保証	人的保証
利率の算定方法	利率見直し方式	利率見直し方式	利率見直し方式	利率見直し方式

- 注1 給付奨学金の月額とは「利用条件」欄に記載の「支援区分」、進学先の学校の学校種別、設置者(国公立)及び進学形態(自宅進学・自宅外進学)により定まります。なお、支援区分は、家計の状況により毎年10月に変更されます。また、給付奨学金の支援区分に「◆」印がある人で生計保護者等の自宅から進学する場合、又は、社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から進学する場合の給付奨学金の月額は、月額表(「給付奨学生採用候補者のしおり」巻頭)に記載の( )内の金額になります。
- 注2 貸与奨学金に係る「申込時の選択内容」に記載の内容は、「進学届」の提出時に改めて選択し直すことができます。「進学届」の提出により内容が確定し、その後は変更できない等の制約が発生することがあります。
- 注3 第一種奨学金の貸与月額とは、進学先の学校の学校種別、設置者(国公立)及び進学形態(自宅進学・自宅外進学)により定まる金額(「貸与奨学生採用候補者のしおり」巻頭)から「進学届」にて選択します。ただし、第一種奨学金の「利用条件」欄に「最高月額利用: 不可」と印字されている場合、「最高月額」は利用できません(「最高月額以外の月額」からの選択となります)。また、給付奨学金を併せて利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。
- 注4 海外大学進学者は「機関保証制度」「人的保証制度」の両方への加入が必要です。

#### (注意事項)

- ① 本通知に同封されている「給付奨学生採用候補者のしおり」又は「貸与奨学生採用候補者のしおり」を必ず読んでください。
- ② 国内大学等進学者は、裏面に記入のうえ、進学後すみやかに進学先学校に提出し、期限内に手続きをしてください。
- ③ 海外大学進学者は「貸与奨学生採用候補者のしおり」29ページに従って手続きを行ってください。

## 採用候補者決定通知の見方と記入方法

\*袋とじを開封してください

### 【進学先提出用】のみ提出

### 【本人保管用】は大切に保管

【本人保管用】に記載されている「進学届提出用パスワード」は、進学届入力の際に使用します。大学では把握しておりませんので大切に保管してください。

交付書類コードにより裏面の確認箇所、提出書類が異なります。

あなたの奨学金に関する情報が記載されています

\*採用候補者決定通知書を紛失した場合は至急ご連絡ください

【(国内大学等進学者用) 進学後記入欄】

学籍番号	24A0001 <b>間違いないように記入</b>			
学部・学科	工学部 ○○工学科			
(フリガナ)	ショウナン ダイスケ			
氏名	湘南 大介			
進学後の連絡先(本人)	住所	〒251-0046 神奈川県藤沢市辻堂西海岸3-2 湘工ハイツ 101		
	電話番号	0466 - 30 - 0278	携帯電話番号	090 - 1234 - 5678

**全員記入** 消せないボールペンで枠内の記入欄をすべて記入

※住所は住民票にかかわらず現在住んでいるところを記入

**給付奨学金の採用候補者の方で**

表面の**交付書類コード「D」「E」「F」「G」**の採用候補者は該当する□にチェックしてください。

**「自宅外通学」**を選択する場合、条件があります。

実家から大学等までの、

**ア 通学距離が片道60キロメートル以上**

**イ 通学時間が片道120分以上**

**ウ 通学費が月1万以上**

**エ 通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下**

もしくは

**オ その他やむを得ない特別な事情により学業との関連で実家からの通学が困難である場合 \*学生課まで要相談**

自宅外通学であることの証明書類→賃貸借契約書、入寮証明書等のコピー（※次ページ参照）を提出してください。

上記に該当しない = 「自宅通学」を選択

1. 奨学金振込口座について (全員次の□にチェック)

採用候補者本人名義の口座 **全員記入** 必ず本人名義の口座が必要

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの□にチェック)

- 進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。
- 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要」と印字がある人は、次のどちらかの□にチェック)

- 入学時特別増額貸与奨学金を利用します。ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。
  - ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)
  - ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー(圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します。)
- 入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類が揃えられなかった場合を含む)。ついては、インターネットによる進学届提出時に、併せて辞退の手続きを行います。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの□にチェック)

- 連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。
- 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

# 自宅外通学であることの証明書類

## <アパート等の賃貸借契約をしている場合>

契約名義		証明書類
奨学生 <b>本人名義</b> で賃貸借契約を行っている場合		<ul style="list-style-type: none"> <li>「賃貸借契約書」のコピー (契約期間、借主および貸主、家賃、物件の所在地等の契約内容が分かり、本人の居住が明確に判別できるもの) *重要事項説明書のみ提出は不備になります。</li> </ul>
奨学生 <b>本人以外</b> の名義で賃貸借契約を行っている場合	賃貸借契約書に <b>入居者欄</b> があり、 <b>奨学生本人のみが居住していることが分かる場合</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者欄に奨学生本人氏名が記載された「賃貸借契約書」のコピー (契約期間、借主および貸主、家賃、物件の所在地等の契約内容が分かり、本人の居住が明確に判別できるもの)</li> </ul>
	賃貸借契約書に <b>入居者欄</b> がなく、 <b>奨学生本人が居住していることが不明な場合</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「賃貸借契約書」のコピー (契約期間、借主および貸主、家賃、物件の所在地等の契約内容が分かるもの) +</li> <li>「奨学生本人の居住証明書」 …「居住証明書」は貸主や契約業者の署名押印が必要</li> </ul>

## <学生寮に入っている場合>

入寮義務	証明書類
学校から入寮を義務付けられている <b>場合</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校が承認した「入寮許可証」のコピー (寮費が発生していることが分かるもの ※)</li> <li>+</li> <li>入寮が義務付けられていることが確認できるもの</li> </ul>
学校から入寮を義務付けられて <b>いない場合</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校が承認した「入寮許可証」のコピー (寮費が発生していることが分かるもの ※)</li> </ul>

※「入寮許可証」に寮費の発生について記載がない場合は、学則や学生寮規則等の該当部分コピーを添付。

【(国内大学等進学者用) 進学後記入欄】

学籍番号	24A0001 <b>間違いないように記入</b>			
学部・学科	工学部 ○○工学科			
(フリガナ)	ショウナン ダイスケ			
氏名	湘南 大介			
進学後の 連絡先 (本人)	住所	〒251-0046 神奈川県藤沢市辻堂西海岸3-2 湘工ハイツ 101		
	電話番号	0466 - 30 - 0278	携帯 電話番号	090 - 1234 - 5678

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの口にチェック)

- 進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。  
 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。  
 ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

7. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の『国の教育ローン』の申込：必要」と印字がある人は、次のどちらかの口にチェック)

- 入学時特別増額貸与奨学金を利用します。  
 ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。  
 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)  
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー  
 (圧着はがきの場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します)。  
 入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類が調えられなかった場合を含む)。  
 ついては、インターネットによる進学届提出時に、併せて辞退の手続きを行います。

(2) 保証制度 (人元的保証)を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの口にチェック)

- 連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。  
 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

**貸与奨学金の採用候補者の方で**

表面の交付書類コード「B」「E」の採用候補者は該当する□にチェックしてください。

**入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合**

『国の教育ローン』に申込み、審査の結果、融資を受けられなかったことを証明する

- ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」
- ② 「融資できない旨を記載した」通知文のコピー

を一緒に提出してください。

**入学時特別増額貸与奨学金を希望しない場合**

(必要書類が調えられなかった場合を含む)

「入学時特別増額貸与金を辞退します」にチェックし、決定通知のみ提出

**交付書類コード「C」「F」**の採用候補者の方で入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合、その他必要な書類はありません。

インターネットで進学届の手続きにより、一時金が受けられます。進学届提出時に辞退も可能です。

【(国内大学等進学者用) 進学後記入欄】

※海外大学進学者は使用しません。

学籍番号	24A0001	<b>間違いないように記入</b>		
学部・学科	工学部 ○○工学科			
(フリガナ)	ショウナン ダイスケ			
氏名	湘南 大介			
進学後の 連絡先 (本人)	住所	〒251-0046 神奈川県藤沢市辻堂西海岸3-2 湘工ハイツ 101		
	電話番号	0466 - 30 - 0278	携帯 電話番号	090 - 1234 - 5678

**貸与奨学金の採用候補者で保証制度を「人的保証」としている方は該当する□にチェックしてください。**

1. 奨学金振込口座について (全員次の口にチェック)

採用候補者本人名義の普通預金(通常貯金)口座を金融機関に設けました。

2. 給付奨学金について (給付奨学金の採用候補者となっている人は、いずれか1つの□にチェック)

- 進学届にて「自宅通学」を選択します(入学月より自宅通学となるため)。  
 進学届にて「自宅外通学」を選択します(入学月より自宅外通学となるため)。  
 ついては、進学先の学校へ入学月において自宅外通学であることの証明書類を提出します。

3. 貸与奨学金について

(1) 入学時特別増額貸与奨学金

(入学時特別増額貸与奨学金の利用条件について、「日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：必要」と印字がある人は、次のどちらかの□にチェック)

- 入学時特別増額貸与奨学金を利用します。  
 ついては、本紙に次の2点の書類を添えて提出します。  
 ① 「入学時特別増額貸与奨学金に係る申告書」(本通知に同封の様式)  
 ② 融資できないことが記載された日本政策金融公庫からの通知文のコピー  
 (圧着が有る場合は、申込者氏名が印字されている宛名面のコピーも提出します)。  
 入学時特別増額貸与奨学金を辞退します(必要書類が揃えられなかった場合を含む)。  
 ついては、インターネットによる進学届提出時に、併せて辞退の手続きを行います。

(2) 保証制度 (「人的保証」を選択している奨学金がある人は、次のどちらかの□にチェック)

- 連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方が日本学生支援機構の定める条件に合致することを確認し、連帯保証人及び保証人を依頼する予定の方から保証を引き受ける旨の承諾を得ました。  
 進学届の提出時に、保証制度を人的保証から機関保証に変更します(条件を満たす人に承諾を得られなかった場合を含む)。

**□連帯保証人及び人的保証を依頼する予定の方・・・にチェックした方は、大学公式WEBサイトに掲載の提出書類チェックリストに連帯保証人・保証人の情報を記入してください。**

以下の条件を満たさない方を保証人に選任する場合は、「貸与奨学生採用候補者のしおり」P16 連帯保証人・保証人選任条件の【代替要件】を確認し証明書類を提出してください。

連帯保証人、保証人の選任条件は以下のとおり。

連帯保証人…原則、父母のいずれか

保証人……以下の条件を満たす、おじ・おば・兄弟・いとこ等

- ① 本人・連帯保証人とは別生計であること
- ② 父母を除く、4親等以内の成年親族であること(学生不可)
- ③ スカラネット入力時に65歳未満であること